

# 学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

平成21年1月8日

No.9

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinsio@edu-tens.net

2009年 新しい年（丑年）のスタート

校長 池田 保

あけましておめでとうございます

旧年中は、塩っ子教育に対しまして、保護者の皆様・地域の方々には、多くのご支援とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。本年もよろしく願いいたします。

今年も暖冬なのかと思っていたところ、年末から冬らしい寒さとなりましたが、各ご家庭では、お正月をどのように迎えられたのでしょうか。私は、元日の朝、大窪寺に初詣に出かけ、公私ともに明るい1年であって欲しいことをお願いしたところです。自宅を出て車を走らせること20分ほどで、大窪寺の麓の多和小学校に通りがかりました。運動場一面に新雪が積もり、年明けの朝日に照らされた銀白色の輝きを美しく感じましたが、この小学校を含めた東讃の小学校も児童数が減少し、統合の計画があると聞いています。

本年は、本校にとって平成22年4月の統合に向けた準備とともに、閉校に向けての計画・事業の実施を進めていく大切な1年であると考えています。年末に、PTA常任委員の方々を中心とした話し合いの場がもたれ、閉校記念事業実行委員会が立ち上がりました。様々な場で、地域の方の小学校に対する熱い思いを聞く中で、子どもたちが本校で学んできたことへの誇りと新しい学校への希望をもち、そして、学校にかかわっておられる全ての方々が、新塩屋町小学校への愛着を持ち続けることができることを第一に考えていきたいと思っておりますので、ご支援をよろしく願いいたします。

ところで、すでにご案内しているところですが、1月22日に、本校において課題別研修会が開催されます。当日は高松市内西ブロックの教員250名ほどの参加があり、統合する関係5校が現在進めている小中一貫教育カリキュラムの実施について、本校の取組として授業公開いたします。その授業内容の概要についてお知らせします。



## <1年 生活科>

城東保育園の友だちと楽しいこまを作って遊ぶ活動を通して、よく回るこまのひみつやコツを教え合ったり、互いの活動のよさを見つけたりします。地域の方や保育園の友だちといった様々な人とのかかわりを通して、自分の成長を見つめていきます。

## <2年 英語科>

“Do you like ～（野菜）？”を基本文型とし、先生や友だちに尋ねたり、答えたことを生かして、ペアで授業の参加者にインタビューします。英語での表現やコミュニケーションを楽しみます。

## <3年 高松みらい科「環境教育を視点に」>

自分たちで育てたたくさんのメダカを放流したビオトープが、さらにメダカにとって住みやすい場所なるようにと、これまでの自分の活動やメダカがよく見られる自然の環境をもとに、夢ビオトープの設計図を作ります。

## <4年 体育科>

小中一貫教育カリキュラムでの体力向上プランの一つとして投動作を取り上げます。ボールを投げることで自分の課題をもとに、3つのコースで練習し、自分の伸びや自他の動きのよさを見つけていきます。運動の楽しさや基本となる身体の動きを身に付けます。

## <5年 高松みらい科「キャリア教育を視点に」>

小中一貫教育カリキュラムにおいて、キャリア教育の視点が明確に始まる学年として、伝統工芸品づくりを体験したり、伝統工芸を受け継ぐ人々の思いや生き方に触れたりしたことをまとめていくことで、将来職業に就いていく素地としての自分の生き方を見つめていきます。

## <6年 英語科>

“What ～（教科名） do you like？”を基本文型とし、友だちとのインタビューゲームをします。学級担任と中学校英語科教員とのTTによる指導により、中学校英語への円滑な接続をふまえ、「聞く・話す」を中心として、英語での表現に親しんでいきます。

授業後は、東京学芸大学名誉教授 児島 邦宏 先生から、『小・中連携・接続』の意義と新しい展開の演題での講演をお願いしております。昨年度も来県いただきましたが、小中一貫教育の意義についてお話がうかがえますので、授業とともに、講演会にも多数ご参加いただきたく思います。また、かぜの流行する時期でもありますので、お子さまの体調管理もよろしく願いいたします。